

消化器センター外科

I. スタッフ紹介

『消化器センター外科』

役職： 消化器センター外科主任部長

氏名： **寺嶋宏明** 「専門領域:肝胆膵外科、消化器外科」

資格： 京都大学医学博士、日本外科学会 指導医・専門医・認定医、日本消化器外科学会 指導医・専門医、日本消化器外科学会 消化器がん治療認定医、日本肝胆膵外科学会 評議員、日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医、近畿外科学会 評議員

役職： 消化器センター外科副部長(2013 年 6 月入職)

氏名： **金澤旭宣** 「専門領域:消化管外科、特に大腸外科・癌化学療法」

資格： 京都大学医学博士、日本外科学会 指導医・専門医・認定医、日本消化器外科学会 指導医・専門医、日本消化器外科学会 消化器がん治療認定医、日本内視鏡外科学会 評議員、日本内視鏡外科学会 技術認定医(大腸)、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医/暫定教育医、日本臨床腫瘍学会 暫定教育医

役職： 消化器センター外科副部長

氏名： **上田修吾** 「専門領域:消化管外科、特に胃外科・食道外科・癌化学療法」

資格： 京都大学医学博士、日本外科学会 専門医・認定医、日本消化器外科学会 専門医、日本消化器外科学会 消化器がん治療認定医、日本がん治療認定医機構 暫定教育医、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、日本食道学会 食道科認定医/食道外科専門医

役職： 消化器センター外科副部長(2013 年 5 月退職)

氏名： **野村明成** 「専門領域:消化管外科、特に大腸外科・癌化学療法」

資格： 日本外科学会 指導医・専門医・認定医、日本消化器外科学会 専門医、日本消化器外科学会 消化器がん治療認定医、日本内視鏡外科学会 技術認定医(大腸)、近畿外科学会 評議員

役職： 消化器センター外科副部長

氏名： **飯田拓** 「専門領域:肝胆膵外科、消化器外科」

資格： 三重大学医学博士、日本外科学会 指導医・専門医、日本消化器外科学会 指導医・専門医、日本消化器病学会 専門医、日本消化器内視鏡学会 専門医、日本肝胆膵外科学会 評議員、日本肝臓学会 専門医、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

役職： 消化器センター外科副部長

氏名： **内田洋一朗** 「専門領域:肝胆膵外科、消化器外科」

資格： 関西医科大学医学博士、日本外科学会 専門医、日本消化器外科学会 専門医、日本肝臓学会 専門医、日本移植学会 移植認定医、日本肝胆膵外科学会 評議員

役職： 消化器センター外科副部長

氏名： **吉富摩美** 「専門領域:消化器外科、一般外科」

資格： 京都大学医学博士、日本外科学会 専門医・認定医

役職： 消化器センター外科医員
氏名： 井上善景 「専門領域:消化器外科、一般外科」
資格： 日本外科学会 専門医

役職： 消化器センター外科後期研修医(シニアレジデント)
氏名： 川本浩史、戸田怜、岩村宣亜、後藤徹

II. 診療・治療の特徴

☆ 消化器センター外科の特色

医学研究所が設立母体である当院は科学的根拠に基づき、患者に最適かつ最良の治療方法を見つけだし、治療にあたることを理念とし医療を行っている。06年より従来の消化器内科と外科を統合し発足した消化器センターにおいても消化器癌の治療に際し、最新の研究成果・知見をいかに臨床に導入すべきかを検討しつつ、効率のよい集学的治療を目指している。ともすると敬遠されがちな再発癌への対応としては初期治療のみならず、厳重な術後フォローアップに力を入れ、早期診断、治療への新しい取り組みに努めている。

年間の全手術数は750~800件、全身麻酔件数が530~580件である。

食道癌

年間手術症例は15~20例。ごく早期の癌に内視鏡的粘膜切除を行う以外は、開胸・開腹手術を標準術式としている。進行食道癌に対しては術前化学療法を積極的に施行、良好な成績が得られている。症例によっては、開腹操作は腹腔鏡下や手手的腹腔鏡補助下(HALS)の、開胸操作は胸腔鏡下(VATS)の低侵襲手術を導入している。術後は必要に応じて放射線療法を併用している。早期癌といえども予後不良な食道癌に対しては、徹底した集学的治療が必要と考えている

胃癌

年間手術症例は70~80例。早期胃癌については進行度に応じて、「内視鏡的粘膜切除術(EMR)か内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)」または「腹腔鏡補助下胃切除(幽門側胃切除/噴門側胃切除/胃全摘)」を選択する。通常の進行胃癌に対しては、幽門側胃切除または胃全摘+D2リンパ節郭清を標準術式としているが、高度進行胃癌(高度リンパ節転移例、スキルス胃癌など)に対しては、診断的腹腔鏡で病変を正確に評価した上で、「術前化学療法」を1~2ヶ月施行した後に、根治術を施行する治療戦略を施行し、良好な成績を得つつある。

大腸癌

年間手術症例は150~180例。結腸癌の早期癌に対しては、消化器センター内科において内視鏡的切除術を第一選択として行っている。手術適応症例に対しては腹腔鏡補助下大腸切除術(年間100~120例)を原則としている。高度進行例でも根治性が期待できる切除可能進行癌においては、徹底したリンパ節郭清・隣接臓器合併切除を積極的に行っている。直腸癌では術後のQOLを考慮し、できる限り肛門温存、自律神経温存に努めている。

大腸癌の大きな予後規定因子である肝転移に対しては積極的な肝切除を行っており、切除不能肝転移症例に対しても、全身化学療法により肝転移巣をdown-sizingさせた後に、原発巣と肝転移巣を切除する、新たな治療戦略を導入している。肝切除後の再発防止や切除不能進行再発症例に対しては、FOLFOX/FORFILIの抗癌剤にBevacizumabやCetuximab/Panitumumabなどの分子標的治療薬を加える最新の全身化学療法を施行している。

肝癌

年間手術症例 30～40 例。肝細胞癌は、腫瘍因子(個数、位置、局在)と肝機能の総合的評価により治療法が選択・決定される。当科では、肝機能が良好(肝障害 A または B)で単発または 2-3 個までであれば、積極的に切除を行っている。また、肝細胞癌は慢性肝障害(HBV 感染、HCV 感染)がベースにあるため高頻度に再発する疾患であるが、消化器内科との協力の下、術後は厳重なフォローアップを行っており、早期に再発を診断した上で、経肝動脈塞栓術(TACE)や経皮的ラジオ波焼灼術(RFA)などの治療を実践している。また、症例によっては再切除も考慮している。再発予防については、HCV 陽性患者に対しては、術後の 2 次再発予防目的でのインターフェロン治療も行っている。

一方、転移性肝癌(大腸癌由来)については、切除可能症例については積極的な肝切除を行っているが、切除不能症例でも、mFOLFOX6(症例によっては Bevacizumab や Cetuximab/Panitumumab などの分子標的薬を併用)の全身化学療法によって腫瘍が縮小化した場合には、切除の対象としている。

膵胆道癌

年間手術症例は 20～30 例。膵癌については、画像診断(MDCT, DWI-MRI, FDG-PET, perfusion CT など)や内視鏡的診断(EUS, EUS-FNA)の進歩により 2cm 以下の T1 症例の診断が可能となり、Stage I / II 症例では、5 年生存率 60%以上の成績を挙げている。進行膵癌については、拡大リンパ節郭清の意義が疑問視されているが、当科では上腸間膜動脈右半神経叢郭清を含めた D2 リンパ節郭清を行い、門脈合併切除も積極的に行っている。また術後補助化学療法(Gemcitabine や S-1)を追加することで治療成績向上を目指している。一方切除不能進行膵癌に対しては、病変の状況により(局所進行か遠隔転移か)、全身化学療法(Gemcitabine 単独、S-1 単独、Gemcitabine+S-1 など)や放射線療法、放射線化学療法を選択しており、これらの術前治療で切除に移行できた症例も経験している。

胆管癌については、血管浸潤例を含めて外科的切除を原則としており、中・下部胆管癌には亜全胃温存膵頭十二指腸切除、肝門部・上部胆管癌には肝切除+胆道再建を基本術式としている。縮小手術(胆管切除+胆道再建+リンパ節郭清)は、非常に早期の胆管癌や超高齢や合併症を有する risk の高い症例に対してのみ行っている。広範囲進展型胆管癌では、術前門脈塞栓後に、肝膵同時切除(HPD)を施行する。また、肝動脈/門脈合併切除再建症例も積極的に導入している。

胆嚢癌については、壁深達度に応じて、m 癌は単純胆摘(全層)、mp 癌は胆摘+リンパ節郭清、ss 癌は肝床切除+リンパ節郭清(+胆道再建)、se 癌以上では肝切除(S4a+S5 切除または右肝切除)+胆道再建+リンパ節郭清、を基本術式としている。

胆道癌で葉切除以上の肝切除が必要でかつ残肝容量が少ない場合には、術前門脈塞栓術(経皮経肝的アプローチまたは経回腸静脈的アプローチ)を行い、残肝肥大を得た上での安全な手術を実施している。

その他

胆石症は年間 150～180 例(腹腔鏡下切除は 100～150 例)、ヘルニアは年間 100～150 例(鼠径ヘルニアは Kugel 法(後方アプローチ)を基本術式としている)。

医療設備: MRI、MD-CT、造影超音波診断装置、血管造影装置、RFA(ラジオ波焼灼装置)、腹腔鏡下手術装置、超音波外科吸引装置(CUSA)、VIO、Vincent 3D 画像解析システム、da Vinci ロボット支援外科手術システム

Ⅲ. 研究

①主催研究会

- ★北野病院消化器センターK2-Net:2013/4/25, 2013/10/3
- ★北大阪消化器外科合同カンファレンス:2013/9/5

②研究活動内容;文部科学省・その他団体(平成 25 年度新規取得分も含む)

- ★上田修吾:CHP/NY-ESO-1 ポリペプチドがんワクチンの術後食道癌症例を対象とした多施設共同前期第Ⅱ相臨床試験(三重大学)(厚生労働省科学研究費補助金 平成 23-25 年度、研究分担)
- ★上田修吾:固形腫瘍微小環境と細胞内レドックス制御による腫瘍幹細胞の抗癌剤抵抗性の克服(科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金(基盤研究 C 平成 24-26 年度))
- ★内田洋一朗:肝虚血再灌流障害における新しいメカニズムの解明ーT細胞の役割についてー(日本学術振興会 科研費若手研究 B 平成 23-25 年))
- ★内田洋一朗:最大限の病変摘出と機能温存を両立するパルスジェットメスの開発(経済産業省 東北経済産業局 平成 25 年度地域新成長産業創出促進事業(先進医療機器開発等産学連携プロジェクト事業))(東北大学との共同研究)
- ★内田洋一朗:肝虚血再灌流障害における新しいメカニズムの解明ーT細胞の役割についてー(日本学術振興会 科研費若手研究 B(平成 23~25 年度))
- ★内田洋一朗:免疫寛容誘導による肝虚血再灌流障害の軽減に関する検討(平成 25 年度 上原記念生命科学財団研究奨励金)
- ★内田洋一朗:肝障害における自然免疫の機能解明(財団創設 80 周年記念事業 探索医学プロジェクト 平成 25-26 年度)
- ★内田洋一朗:TLR-4 (Toll-like receptor-4) 経路に関するリコモジュリンの有用性の検討(平成 25 年度 旭化成学術研究助成費)
- ★飯田拓:脂肪肝過小グラフト移植におけるグラフト機能不全の克服:ドナープール拡大を目指して(日本学術振興会 科研費若手研究 B(平成 25~27 年度))
- ★寺嶋宏明:自然免疫支配下の T 細胞の存在意義の追求-なぜ肝障害を制御できるのか?- (挑戦的萌芽研究 平成 25-26 年度)

③共同研究施設(外科)

- ☆ 京都大学医学部 肝胆膵移植外科
- ☆ 京都大学医学部 消化管外科学
- ☆ 三重大学医学部 遺伝子・免疫細胞治療学

2013 年(1 月～12 月)手術症例数

1 全手術数（外来手術を含める）	738	例
2 鏡視下手術（補助下手術を含む、EMR・ESD は含まず）	288	例
3 全麻手術数	572	例
4 緊急手術数	116	例

5 術式別手術件数

※うち鏡視下手術 (下記記入例参照)

(1) 食道癌切除術	12	例	0	例
(2) 幽門側胃切除術（幽門保存切除術を含む）	41	例	12	例
(3) 胃全摘術（噴門側胃切除術を含む）	24	例	10	例
(4) 結腸切除術	100	例	57	例
(5) 直腸前方切除術	46	例	37	例
(6) 直腸切斷術	0	例	0	例
(7) 肝切除術（葉切除以上）	5	例	0	例
(8) 肝切除術（区域・亜区域切除術）	10	例	4	例
(9) 肝切除術（上記以外）	15	例	7	例
(10) 膵頭十二指腸切除術	15	例	0	例
(11) 膵体尾部切除術（胃癌手術に伴うものは除く）	5	例	0	例
(12) 膵切除術（その他）	1	例	0	例
(13) 乳癌手術	0	例	0	例
(14) 胆嚢摘出術	165	例	108	例
(15) 脾摘術	18	例	9	例
(16) 虫垂切除術	55	例	23	例
(17) ヘルニア手術（小児を除く）	107	例	7	例
(18) 良性肛門疾患に関する手術	0	例	0	例
(19) 小児外科手術（ヘルニアも含む）	0	例	0	例

※ 鏡視下手術（補助下手術を含む）例数をお書きください。EMR・ESD は除きます。

例えば、胆嚢摘出術で鏡視下手術が 29 例、開腹手術が 3 例であれば、

胆嚢摘出術	32	例	29	例
-------	----	---	----	---

学会発表

- 寺嶋宏明、川本浩史、岩村宣亜、関戸茉美、戸田怜、井上善景、門野賢太郎、吉富摩美、内田洋一郎、飯田拓、野村明成、上田修吾 大腸癌肝転移に対する術前化学療法の適応症例を選択する至適因子は何か？～nomogram 解析に基づく retrospective 検討～ 第 113 回日本外科学会定期学術集会 2013/4/11-4/13（福岡）
- 上田修吾、岩村宣亜、戸田 怜、川本浩史、井上善景、門野賢太郎、吉富摩美、内田洋一郎、飯田 拓、野村明成、寺嶋宏明 腹膜播種を有する胃癌に対する導入化学療法と胃切除術の意義 第 113 回日本外科学会定期学術集会 2013/4/11-4/13（福岡）

3. 野村明成、吉富摩美、井上善景、岩村宣重、戸田怜、川本浩史、門野賢太郎、内田洋一朗、飯田拓、上田修吾、寺嶋宏明 腹腔鏡下直腸低位前方切除術 ～骨盤底までの解剖学的剥離と縫合不全を起こさない直腸切離・吻合方法の定型化～ 第 113 回日本外科学会定期学術集会 2013/4/11-4/13 (福岡)
4. 飯田拓、寺嶋宏明、内田洋一朗、岩村宣重、川本浩史、戸田怜、井上善景、門野賢太郎、吉富摩美、野村明成、上田修吾 肝細胞癌に対する系統的肝切除の臨床的意義:非系統的切除との使い分けは可能か 第 113 回日本外科学会定期学術集会 2013/4/11-4/13(福岡)
5. 内田洋一朗、加茂直子、Paul J Chestovich、平尾浩史、田中宏和、寺嶋宏明、Ronald W Busuttil、Jerzy W Kupiec-Weglinski、上本伸二 肝虚血再灌流障害における IL-22 の保護効果 第 113 回日本外科学会定期学術集会 2013/4/11-4/13 (福岡)
6. 吉富摩美、野村明成、関戸茉美、岩村宣重、戸田怜、川本浩史、井上善景、門野賢太郎、内田洋一朗、飯田拓、上田修吾、寺嶋宏明 右側結腸癌に対する腹腔鏡下リンパ節郭清手技の定型化 第 113 回日本外科学会定期学術集会 2013/4/11-4/13 (福岡)
7. 門野賢太郎、寺嶋宏明、岩村宣重、関戸茉美、川本浩史、戸田怜、井上善景、吉富摩美、内田洋一朗、飯田拓、野村明成、上田修吾 臍体尾部切除における臍切離法と臍液瘻について第 113 回日本外科学会定期学術集会 2013/4/11/4/13 (福岡)
8. 後藤 徹、石井隆道、波多野悦朗、田浦康二郎、瀬尾 智、海道利美、上本伸二 術後 5 年以上経過してから再発した肝内胆管癌の 3 例 第 113 回日本外科学会定期学術集会 2013/4/11-4/13 (福岡)
9. 野村明成 腹腔鏡下直腸癌手術を安全かつ確実に行うためのコツ 第 3 回大腸癌治療ガイドライン講座－実践編－ 2013/4/19 (金沢)
10. 上田修吾 胃癌の外科治療～腹腔鏡胃切除術から進行胃癌に対する術前化学療法まで～ 第 8 回北野病院消化器センターK2-Net 2013/4/25(大阪)
11. Taku Iida, Hiroaki Terajima, Yoichiro Uchida, Shugo Ueda Clinical impact of anatomical liver resection for solitary hepatocellular carcinoma Digestive Disease Week (DDW) 2013 2013/5/18-5/21 (Orlando, USA)
12. 井上善景、野村明成 初めての腹腔鏡下 S 状結腸切除術 第 13 回関西若手外科フォーラム 2013/5/18 (大阪)
13. Shugo Ueda, Shutaro Gunji, Masahiro Yoshida, Michiyuki Kanai, Hiroaki Terajima, Arimichi Takabayashi Effects of rikkunshito, a kampo medicine, on QOL after proximal gastrectomy 48th Congress of the European Society for Surgical Research 2013/5/29-6/1 Istanbul, Turkey
14. 金澤旭宣 大腸がん治療における最新の話題 –ASCO2013 をふまえて– 南大阪大腸癌治療懇話会 2013/6/6 (大阪)
15. 寺嶋宏明、川本浩史、井上善景、門野賢太郎、吉富摩美、内田洋一朗、飯田拓 術前化学療法の導入に伴う大腸癌肝転移に対する肝切除のタイミングについての後ろ向き検討 第 25 回日本肝胆膵外科学会 2013/6/12-6/14 (宇都宮)
16. 飯田拓、寺嶋宏明、内田洋一朗、岩村宣重、川本浩史、井上善景、門野賢太郎、吉富摩美 肝動脈・門脈合併切除を伴う肝切除術での工夫:残肝の完全血行遮断回避のための門脈先行再建について 第 25 回日本肝胆膵外科学会 2013/6/12-6/14 (宇都宮)
17. 内田洋一朗、飯田拓、門野賢太郎、岩村宣重、川本浩史、井上善景、吉富摩美、寺嶋宏明 当院における浸潤性膵管癌切除例の治療成績 第 25 回日本肝胆膵外科学会 2013/6/12-6/14 (宇都宮)
18. 門野賢太郎、内田洋一朗、寺嶋宏明、岩村宣重、川本浩史、井上善景、吉富摩美、飯田拓 手術適応の決定や術式選択に難渋した高度局所進行膵癌の一例 第 25 回日本肝胆膵外科学会

2013/6/12-6/14(宇都宮)

19. 川本浩史、飯田拓、寺嶋宏明、岩村宣重、戸田怜、井上善景、門野賢太郎、吉富摩美、内田洋一朗 短期間のうちに充実性病変に変化した分枝型 IPMN の一例第 25 回日本肝胆膵外科学会 2013/6/12-6/14(宇都宮)
20. 井上善景、寺嶋宏明、飯田拓、川本浩史、門野賢太郎、吉富摩美、内田洋一朗 Mirrizzi 症候群を伴う急性胆嚢炎に対する胆嚢摘出術後に SS 胆嚢癌が判明し、二期的追加切除を施行した 1 例 第 25 回日本肝胆膵外科学会 2013/6/12-6/14 (宇都宮)
21. 寺嶋宏明 肝切除の基本とエナジーデバイスの活用～CUSA+水流滴下式バイポーラによる肝切除(京大方式)へのこだわり～ 第 25 回日本肝胆膵外科学会 2013/6/12-6/14 (宇都宮)
22. 上田修吾 進行・再発食道癌に対する CHP-MAGE-A4 がんワクチン療法臨床試験 第 67 回日本食道学会学術集会 2013/6/13-6/14 (大阪)
23. 金澤旭宣 腹腔鏡下大腸切除 第 2 回 CAMPS(腹腔鏡下大腸切除ビデオクリニック)2013/6/13(福岡)
24. 門野賢太郎、飯田拓、寺嶋宏明、岩村宣重、川本浩史、戸田怜、井上善景、吉富摩美、内田洋一朗、野村明成、上田修吾 私の肝切除術～今ここまでできる！！「巨大肝腫瘍に対する肝右葉切除術」第 6 回肝臓外科医育成の会 2013/6/15 (大阪)
25. 岩村宣重、飯田拓、寺嶋宏明、後藤徹、戸田怜、川本浩史、井上善景、吉富摩美、内田洋一朗、野村明成、上田修吾 小網に発生した成人リンパ管腫の 1 例 第 193 回近畿外科学会 2013/6/22 (京都)
26. 岩崎淳、内田洋一朗、戸田怜、岩村宣重、川本浩史、井上善景、門野賢太郎、吉富摩美、飯田拓、野村明成、上田修吾、寺嶋宏明 胆嚢管癌と術前診断した表層進展型胆管癌の一例 第 193 回近畿外科学会 2013/6/22 (京都)
27. 内田洋一朗、川本浩史、飯田拓、後藤徹、岩村宣重、戸田怜、井上善景、吉富摩美、上田修吾、金澤旭宣、寺嶋宏明 大腸癌肝転移切除不能例における外科的治療戦略 ―当院における BECK 試験症例報告― 第 5 回大腸がん肝転移フォーラム 2013/6/29 (京都)
28. 金澤旭宣 結腸癌術後補助化学療法 第 7 回 DACH カンファレンス 2013/6/29 (東京)
29. 寺嶋宏明、飯田拓、岩村宣重、川本浩史、戸田怜、井上善景、門野賢太郎、吉富摩美、内田洋一朗、野村明成、上田修吾 肝中央領域(S4/S5/S8)に局在する HCC に対する系統的区域切除の短期治療成績 第 49 回日本肝癌研究会 2013/7/11-7/12 (東京)
30. 飯田拓、寺嶋宏明、内田洋一朗、岩村宣重、川本浩史、戸田怜、井上善景、吉富摩美、野村明成、上田修吾 大腸癌異時性肝転移切除例の検討とその治療戦略 第 49 回日本肝癌研究会 2013/7/11-7/12(東京)
31. 寺嶋宏明、川本浩史、戸田怜、井上義景、門野賢太郎、吉富摩美、内田洋一朗、飯田拓、野村明成、上田修吾 大腸癌肝転移の治療戦略～術前化療適応症例の選択、術後化療の意義、術後再発に対する治療についての検討 第 68 回日本消化器外科学会 2013/7/17-19 (宮崎)
32. 上田修吾、岩村宣重、戸田怜、川本浩史、井上善景、吉富摩美、内田洋一朗、飯田拓、野村明成、寺嶋宏明 進行胃癌に対する S-1+シスプラチン療法における抗腫瘍効果予測の試み 第 68 回日本消化器外科学会 2013/7/17-7/19 (宮崎)
33. 野村明成、吉富摩美、岩村宣重、戸田怜、川本浩史、井上善景、内田洋一朗、飯田拓、上田修吾、寺嶋宏明 精緻な腹腔鏡下大腸癌手術を行うための最適な剥離層の選択方法 第 68 回日本消化器外科学会 2013/7/17-7/19 (宮崎)
34. 飯田拓、寺嶋宏明、内田洋一朗、川本浩史、井上善景、門野賢太郎、吉富摩美、野村明成、上田修吾 Conversion chemotherapy 施行後に切除可能となった肝内胆管癌に対する右肝動脈・門脈合併肝拡大左葉切除術 第 68 回日本消化器外科学会 2013/7/17-7/19 (宮崎)

35. 内田洋一朗、飯田拓、門野賢太郎、吉富摩美、野村明成、上田修吾、寺嶋宏明 当院における肝内胆管癌に対する治療戦略 第 68 回日本消化器外科学会 2013/7/17-7/19 (宮崎)
36. 吉富摩美、野村明成、岩村宣亜、戸田 怜、川本浩史、井上善景、内田洋一朗、飯田 拓、上田修吾、寺嶋宏明 当院における腹腔鏡下大腸癌手術の短期治療成績についての検討 第 68 回日本消化器外科学会 2013/7/17-7/19 (宮崎)
37. 門野賢太郎、飯田 拓、寺嶋宏明、川本浩史、戸田怜、井上善景、吉富摩美、内田洋一朗、野村明成、上田修吾 膵体尾部切除における膵液瘻および局所再発への影響について 第 68 回日本消化器外科学会 2013/7/17-7/19 (宮崎)
38. 川本浩史、野村明成、岩村宣亜、戸田 怜、井上善景、吉富摩美、内田洋一朗、飯田 拓、上田修吾、寺嶋宏明 StageIV 大腸癌の予後因子についての検討 第 68 回日本消化器外科学会 2013/7/17-7/19 (宮崎)
39. 戸田怜、野村明成、川本浩史、井上善景、門野賢太郎、吉富摩美、内田洋一朗、飯田拓、上田修吾、寺嶋宏明 閉塞性大腸癌に対する術前減圧処置の有用性に関する検討 第 68 回日本消化器外科学会 2013/7/17-7/19(宮崎)
40. 川本浩史、内田洋一朗、上田修吾、後藤徹、岩村宣亜、戸田怜、井上善景、吉富摩美、飯田拓、金澤旭宣、寺嶋宏明 胃癌の播種性骨髄癌症に伴う DIC に対し rTM 製剤を使用した一例 第 3 回トロンボモジュリン講演会 2013/7/30 (京都)
41. 内田洋一朗、寺嶋宏明、飯田拓、後藤徹、岩村宣亜、川本浩史、戸田怜、井上善景、吉富摩美、上田修吾、金澤旭宣 当科における肝細胞癌に対する手術適応基準の検討 第 48 回近畿肝癌談話会 2013/8/24(大阪)
42. 寺嶋宏明、飯田拓、後藤徹、岩村宣亜、川本浩史、戸田怜、井上善景、吉富摩美、内田洋一朗、野村明成、上田修吾 膵切除を最後に行う膵頭十二指腸切除の試み～mesenteric approach からの展開 第 40 回日本膵切研究会 2013/8/30-8/31 (高松)
43. 金澤旭宣 進行再発大腸癌最新治療 ―最新の知見から― 第 38 回日本大腸肛門病学会九州地方会 第 29 回九州ストーマリハビリテーション研究会 2013/9/13-9/14(鹿児島)
44. 金澤旭宣 腹腔鏡下直腸切除術―標準手技から目指すべき手技― 第 1 回神戸大腸 Video Conference Program41538 (神戸)
45. K Kataoka, A Kanazawa, A Nakajima, A Yamaguchi, A Arimoto, Y Kono Analysis of six biomarkers in primary site, and 5FU+LOHP - treated liver metastatic site of colorectal cancer The 17th European Cancer Congress 2013 (Ecco-Esmo-Estro) 2013/9/27-10/1 (Amsterdam)
46. 井上善景、寺嶋宏明、弓場吉哲、門野賢太郎、後藤 徹、岩村宣亜、戸田 怜、川本浩史、吉富摩美、内田洋一朗、飯田 拓、上田修吾、金澤旭宣 膵神経内分泌腫瘍に対して、膵頭十二指腸切除術を施行した1例 第1回日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会 2013/9/28 (京都)
47. 高 忠之、西村 聡、工藤 寧、浅田全範、八隅秀二郎、上田修吾、寺嶋宏明、河本 泉 消化管神経内分泌腫瘍に対する Everolimus 及び[177Lu-DOTA]-TOC の使用経験 第1回日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会 2013/9/28(京都)
48. 上田修吾、影山慎一、宮原慶裕、珠玖 洋 進行・再発固形癌に対する CHP-MAGE-A4 がんワクチン療法第 I 相臨床試験 第 72 回日本癌学会学術総会 2013/10/3-10/5(横浜)
49. 影山慎一、池田裕明、今井奈緒子、上田修吾、石川 剛、直田浩明、宮原慶裕、吉岡広文、戸村大助、糠谷育衛、峰野純一、片山直之、珠玖 洋 MAGE-A4 発現食道癌における抗原特異的 TCR 遺伝子導入リンパ球輸注後の in vivo 血中持続 第 72 回日本癌学会学術総会 2013/10/3-10/5 (横浜)
50. 杉野早穂子、宮原慶裕、上田修吾、石川 剛、古倉 聡、池田裕明、影山慎一、糠谷育衛、戸村大助、吉岡広文、峰野純一、珠玖 洋 MAGE-A4 特異的 T 細胞発現受容体を用いた遺伝子

- 免疫治療における免疫モニタリング 第 72 回日本癌学会学術総会 2013/10/3-10/5 (横浜)
51. 寺嶋宏明 肝癌(肝細胞癌/肝内胆管癌/転移性肝癌)の外科治療におけるトピック 第 9 回北野病院消化器センターK2-Net 2013/10/3 (大阪)
 52. 飯田 拓、寺嶋宏明、内田洋一朗、後藤 徹、岩村宣亜、戸田 怜、川本浩史、井上善景、吉富摩美、上田修吾、金澤旭宣 当院における局所進行膵癌における術前化学放射線療法の現状 第 2 回京都肝胆膵外科カンファレンス 2013/10/5 (京都)
 53. 岩村宣亜、野村明成、吉富摩美、戸田 怜、川本浩史、井上善景、門野賢太郎、内田洋一朗、飯田 拓、上田修吾、寺嶋宏明 高齢者大腸癌に対する腹腔鏡下手術の短期成績 第 11 回日本消化器外科学会大会 2013/10/11-10/12 (東京)
 54. 金澤旭宣 集学的治療における鏡視鏡下手術の位置づけと実際 第 11 回日本消化器外科学会大会 2013/10/11-10/12 (東京)
 55. 飯田 拓、寺嶋宏明、内田洋一朗 高度局所進行膵癌に対する術前放射線化学療法の現状 第 8 回膵癌術前治療研究会 2013/10/13 (東京)
 56. 上田修吾、後藤 徹、岩村宣亜、戸田 怜、川本浩史、井上善景、吉富摩美、内田洋一朗、飯田拓、寺嶋宏明 進行胃癌に対する S-1+シスプラチン療法の抗腫瘍効果予測のためのバイオマーカー探索 第 51 回日本癌治療学会 2013/10/24-10/26 (京都)
 57. 井上善景、上田修吾、弓場吉哲、津崎光司、高木雄久、戸田弘紀、後藤 徹、岩村宣亜、戸田 怜、川本浩史、吉富摩美、内田洋一朗、飯田 拓、野村明成、寺嶋宏明 癌性髄膜炎で再発したスキルス胃癌の1症例 第 51 回日本癌治療学会 2014/10/24-10/26 (京都)
 58. 川本浩史、上田修吾、後藤徹、岩村宣亜、戸田怜、井上善景、吉富摩美、内田洋一朗、飯田拓、野村明成、寺嶋宏明 胃癌術後補助化学療法と栄養状態との関係性 第 51 回日本癌治療学会 2013/10/24-10/26 (京都)
 59. 片岡幸三、金澤旭宣、中島研郎、有本 明 大腸癌肝転移での Thymidine phosphorylase の治療効果及び予後予測因子としての有用性 第 51 回日本癌治療学会 2013/10/24-10/26 (京都)
 60. 久保麻友子、山田信子、金田恵美、井上裕子、福田美由紀、永原 守、上田修吾 胃癌術後患者への外来栄養指導における栄養評価の取り組み 第 43 回胃外科・術後障害研究会 2013/11/1-11/2 (新潟)
 61. 川本浩史、飯田 拓、戸田 怜、後藤 徹、岩村宣亜、井上善景、吉富摩美、内田洋一朗、上田修吾、金澤旭宣、寺嶋宏明 大腸穿孔術後に敗血性ショック、重症 DIC を経て、Mucor による壊死性筋膜炎を呈した一例 第 16 回近畿外科病態研究会 2013/11/2 (大阪)
 62. 上田修吾 手術室におけるチーム医療 消化器外科医の立場から 平成 25 年度日本看護学会大阪地区 奈良県セミナー 2013/11/2(奈良)
 63. 大野 龍、岩村宣亜、吉富摩美、戸田 怜、川本浩史、井上善景、内田洋一朗、飯田 拓、上田修吾、金澤旭宣、寺嶋宏明 上行結腸癌術後孤立性脾転移の一例 第 194 回近畿外科学会 2013/11/9 (大阪)
 64. 松原弘侑、岩村宣亜、吉富摩美、戸田怜、川本浩史、井上善景、内田洋一朗、飯田拓、上田修吾、金澤旭宣、寺嶋宏明 胆石症を合併した血液疾患に腹腔鏡下脾臓・胆嚢摘出術を行った 2 例 第 194 回近畿外科学会 2013/11/9(大阪)
 65. 金澤旭宣 外科医の立場から考える大腸癌集学的治療 第 2 回専門医で考える大腸癌セミナー 2013/11/13(大阪)
 66. 金澤旭宣 大腸癌標準治療-腹腔鏡下手術と補助療法の役割 第 4 回癌・炎症とαリポ酸研究会 2013/11/16(大分)
 67. 長谷川美里、楠本雅美、東美佐、石井彩、戸田怜、岩村宣亜、寺嶋宏明 チームで取り組む緩

和ケア～消化器癌終末期患者の生きる希望を支えるために～ 第 75 回日本臨床外科学会
2013/11/21-11/23 (名古屋)

68. 岩村宣亜、内田洋一朗、後藤徹、戸田怜、川本浩史、井上善景、吉富摩美、飯田拓、野村明成、上田修吾、寺嶋宏明 腸重積を合併した横行結腸巨大脂肪腫の一例 第 75 回日本臨床外科学会 2013/11/21-11/23 (名古屋)
69. 川本浩史、飯田拓、後藤徹、岩村宣亜、戸田怜、井上善景、吉富摩美、内田洋一朗、上田修吾、寺嶋宏明 大腸穿孔後に発症し、急速に悪化した壊死性筋膜炎の一例 第 75 回日本臨床外科学会 2013/11/21-11/23 (名古屋)
70. 戸田怜、飯田拓、後藤徹、岩村宣亜、川本浩史、井上善景、吉富摩美、内田洋一朗、上田修吾、金澤旭宣、寺嶋宏明 当科での膦切除における SSI に関する検討 第 75 回日本臨床外科学会 2013/11/21-11/23 (名古屋)
71. 三由僚、門野賢太郎、上田修吾、後藤徹、岩村宣亜、川本浩史、戸田怜、井上善景、吉富摩美、内田洋一朗、飯田拓、金澤旭宣、寺嶋宏明異なる機序の通過障害をきたした食道裂孔ヘルニア 3 手術症例の検討 第 75 回日本臨床外科学会 2013/11/21-11/23 (名古屋)
72. 飯田拓、寺嶋宏明、内田洋一朗、岩村宣亜、川本浩史、戸田 怜、井上善景、吉富摩美、上田修吾、金澤旭宣 大腸癌異時性肝転移に対する外科的治療成績 第 75 回日本臨床外科学会 2013/11/21-11/23 (名古屋)
73. 岡田俊裕、金澤旭宣、外山和隆、福田明輝、山之口賢、有本明 腹腔鏡下直腸癌手術に置ける吻合の留意点とその成績 第 75 回日本臨床外科学会総会 2013/11/21-11/23 (名古屋)
74. 中島研郎、金澤旭宣、片岡幸三、岩本慈能、加藤健志、有本明 大腸癌切除不能管転移症例における Conversion therapy の有用性と問題点の検討 第 75 回日本臨床外科学会総会 2013/11/21-11/23 (名古屋)
75. 金澤旭宣 大腸癌術後補助化学療法における多剤併用療法の役割 第 75 回日本臨床外科学会総会 2013/11/21-11/23 (名古屋)
76. 野村明成、吉富摩美、井上善景、門野賢太郎、岩村宣亜、戸田怜、川本浩史、内田洋一朗、飯田拓、上田修吾、寺嶋宏明 再現性のある確実な腹腔鏡下大腸癌根治術を如何にして継承するか 第 75 回日本臨床外科学会総会 2013/11/21-11/23 (名古屋)
77. 大西泉、清水里香、寺嶋宏明、上田修吾、野村明成 手術室看護師のための内視鏡手術体験セミナーの意義についての検討～経時的アンケート調査結果を踏まえて 第 26 回日本内視鏡外科学会 2013/11/28-11/30 (福岡)
78. 野村明成、吉富摩美、井上善景、門野賢太郎、岩村宣亜、戸田怜、川本浩史、内田洋一朗、飯田拓、上田修吾、寺嶋宏明 腹腔鏡下内側アプローチによる中結腸動脈根部への確実な到達方法 第 26 回日本内視鏡外科学会 2013/11/28-11/30 (福岡)
79. 井上善景、吉富摩美、金澤旭宣、野村明成、川本浩史、内田洋一朗、飯田拓、上田修吾、寺嶋宏明 閉塞性大腸癌に対して、大腸ステント留置後に腹腔鏡下大腸切除術を安全に施行した 4 例 第 26 回日本内視鏡外科学会 2013/11/28-11/30 (福岡)
80. 上田修吾、井上善景、吉富摩美、内田洋一朗、飯田拓、金澤旭宣、寺嶋宏明 腹腔鏡補助下胃全摘術における経口アンビルを用いた食道空腸吻合法 第 26 回日本内視鏡外科学会 2013/11/28-30 (福岡)
81. 吉富摩美、金澤旭宣、井上善景、内田洋一朗、飯田拓、上田修吾、寺嶋宏明 腹腔鏡下下行結腸切除における支配血管を意識した内側アプローチ 第 26 回日本内視鏡外科学会 2013/11/28-11/30 (福岡)
82. 川本浩史、寺嶋宏明、井上善景、吉富摩美、内田洋一朗、飯田拓、金澤旭宣、上田修吾 大腸癌同時性肝転移症例に対する腹腔鏡下での大腸・肝同時切除の有用性 第 26 回日本内視鏡

外科学会 2013/11/28-11/30 (福岡)

83. 飯田拓、寺嶋宏明、川本浩史、井上善景、吉富摩美、内田洋一郎、上田修吾、金澤旭宣 当院での腹腔鏡下脾臓摘出術の治療成績 第 26 回日本内視鏡外科学会 2013/11/28-11/30 (福岡)
84. 金澤旭宣 集学的治療における腹腔鏡下手術の教育と化学療法役割 第 3 回明石大腸癌カンファレンス 2013/12/5 (兵庫)
85. 金澤旭宣 切除不能・困難な大腸癌肝転移に対する最適な集学的治療 第 2 回神奈川 CRC カンファレンス 2013/12/6 (横浜)
86. 岩村宣亜、後藤 徹、戸田 怜、川本浩史、井上善景、吉富摩美、内田洋一郎、飯田 拓、野村明成、上田修吾、金澤旭宣、寺嶋宏明 高齢者大腸癌に対する腹腔鏡下手術の短期成績 平成 25 年度京都大学外科冬季研究会 2013/12/7 (京都)
87. 金澤旭宣 腹腔鏡下大腸切除術における手技の向上 第 2 回琉球 LAC カンファレンス 2013/12/14 (那覇)
88. 後藤徹、金澤旭宣、岩村宣亜、川本浩史、戸田怜、寺嶋宏明、井上善景、吉富摩美、内田洋一郎、飯田拓、上田修吾 Trousseau 症候群を合併した腫瘍性大腸閉塞に対して大腸ステント (SEMS)を用いた bridge to surgery を実践した 1 例 第 597 回大阪外科集談会 2014/1/18 (大阪)
89. 金澤旭宣 腹腔鏡下大腸手術の教育大腸癌治療セミナー in Kobe 2014/2/7 (神戸)
90. 飯田拓、寺嶋宏明、内田洋一郎、後藤徹、岩村宣亜、川本浩史、戸田怜、井上善景、吉富摩美、上田修吾、金澤旭宣 当科での腹腔鏡下肝切除術の現状:完全腹腔鏡下系統的肝切除を目指して 第 42 回近畿肝臓外科学研究会 2014/2/8 (大阪)
91. 寺嶋宏明 肝臓外科における 2 方向性の追求:低侵襲手術と高難度手術 第 1 回北野病院消化器センター外科 K2-Net 2014/2/26 (大阪)
92. 金澤旭宣 直腸癌に対する腹腔鏡下手術と肛門機能温存 第 1 回北野病院消化器センター 外科 K2-Net 2014/2/26 (大阪)
93. 久保麻友子、山田信子、金田恵美、井上裕子、福田美由紀、永原 守、上田修吾 胃癌術後患者への外来栄養指導～定期的な栄養評価の必要性について～ 第 29 回日本静脈経腸栄養学会学術集会 2014/2/27-2/28 (横浜)
94. 戸田怜、金澤旭宣、後藤徹、岩村宣亜、川本浩史、井上善景、吉富摩美、内田洋一郎、飯田拓、上田修吾、寺嶋宏明 急性虫垂炎に対する待機的治療の役割 第 50 回日本腹部救急医学会総会 2014/3/6-3/7 (東京)
95. 上田修吾、後藤 徹、岩村宣亜、川本浩史、戸田 怜、井上善景、吉富摩美、内田洋一郎、飯田拓、金澤旭宣、寺嶋宏明 微小腹膜播種転移胃癌に対する導入化学療法と胃切除術の有用性 第 86 回日本胃癌学会学術総会 2014/3/20-3/22 (横浜)
96. 井上善景、上田修吾、弓場吉哲、川本浩史 TS-1/CDDP による術前化学療法で pCR が得られた 4 型胃癌が、癌生髄膜炎として再発した 1 例 第 86 回日本胃癌学会学術総会 2014/3/20-3/22 (横浜)
97. 川本浩史、上田修吾 胃癌術後補助化学療法と栄養状態との関連性 第 86 回日本胃癌学会学術総会 2014/3/20-3/22 (横浜)
98. H. Kawamoto, H. Terajima, S. Iwamura, R. Toda, Y. Inoue, M. Yoshitomi, Y. Uchida, T. Iida, S. Ueda, and A. Kanazawa Indication criteria of preoperative chemotherapy for colorectal liver metastases 11th World Congress of the International Hepato-Pancreato-Biliary Association 2014/3/22-3/27 (Seoul, Korea)
99. H. Terajima, T. Iida, S. Iwamura, H. Kawamoto, R. Toda, Y. Inoue, M. Yoshitomi, Y. Uchida,

- S. Ueda, and A. Kanazawa Short-term postoperative outcome of central hepatectomy for centrally located hepatocellular carcinoma 11th World Congress of the International Hepato-Pancreato-Biliary Association 2014/3/22-3/27 (Seoul, Korea)
100. Y. Uchida, H. Terajima, T. Iida, S. Iwamura, H. Kawamoto, R. Toda, Y. Inoue, M. Yoshitomi, S. Ueda, and A. Kanazawa Indication of hepatic resection for hepatocellular carcinoma 11th World Congress of the International Hepato-Pancreato-Biliary Association 2014/3/22-3/27 (Seoul, Korea)
101. T. Iida, H. Terajima, Y. Uchida, H. Kawamoto, R. Toda, Y. Inoue, M. Yoshitomi, S. Ueda, and A. Kanazawa Impact of neoadjuvant chemoradiotherapy for borderline resectable and non-resectable pancreatic cancer 11th World Congress of the International Hepato-Pancreato-Biliary Association 2014/3/22-3/27 (Seoul, Korea)

論文発表

1. Hida K, Hasegawa S, Kataoka Y, Nagayama S, Yoshimura K, Nomura A, Kawada K, Kawamura J, Kinjo Y, Sakai Y Male Sexual Function after Laparoscopic Total Mesorectal Excision *Colorectal Dis.* 2013 Feb;15(2):244-51. Epub 2012 Jul 7
2. Michiko Hirayama, Hiroyoshi Nishikawa, Yasuhiro Nagata, Takemasa Tsuji, Takuma Kato, Shinichi Kageyama, Shugo Ueda, Daisuke Sugiyama, Sahoko Hori, Shimon Sakaguchi, Gerd Ritter, Lloyd J. Old, Sacha Gnjatich and Hiroshi Shiku Overcoming regulatory T cell suppression by a lyophilized preparation of *Streptococcus pyogenes* *Eur J Immunol*, 2013 Apr;43(4):989-1000. Epub 2013 Feb 26
3. Okoshi K, Masano Y, Hasegawa S, Hida K, Kawada K, Nomura A, Kawamura J, Nagayama S, Yoshimura T, Sakai Y Efficacy of transanal drainage for anastomotic leakage after laparoscopic low anterior resection of the rectum *Asian J Endosc Surg.* 2013 May;6(2):90-5. Epub 2012 Dec 10
4. 川崎有亮, 寺嶋宏明, 上田修吾, 福永明子, 八木田正人 trisomy8 陽性骨髓異形成症候群に併発した腸管 Behcet 病穿孔の 1 例 *日本臨床外科学会雑誌* 74(6): 1547-1551, 2013
5. Masaki Watanabe, Tadayuki Kou, Hiroshi Kawamoto, Shujiro Yazumi Obturator Hernia *Intern Med* 2013;52(11):1269.
6. Shutaro Gunji, Shugo Ueda, Masahiro Yoshida, Michiyuki Kanai, Hiroaki Terajima, Arimichi Takabayashi Effects of rikkunshito, a kampo medicine, on quality of life after proximal gastrectomy *J Surg Res* 2013 Dec;185(2):575-80.
7. Chihara Y, Egawa H, Oga T, Tsuboi T, Handa T, Yagi S, Iida T, Yoshizawa A, Yamamoto K, Mishima M, Tanaka K, Uemoto S, Chin K. Predictive factors for reintubation following noninvasive ventilation in patients with respiratory complications after living donor liver transplantation. *PLoS One.* 2013 Dec 5;8(12)
8. Koyama Y, Taura K, Hatano E, Tanabe K, Yamamoto G, Nakamura K, Yamanaka K, Kitamura K, Narita M, Nagata H, Yanagida A, Iida T, Iwaisako K, Fujinawa H, Uemoto S. Effects of oral intake of hydrogen water on liver fibrogenesis in mice. *Hepatol Res.* 2013 May 20. [Epub ahead of print]
9. Hori T, Yamagiwa K, Hayashi T, Yagi S, Iida T, Taniguchi K, Kawarada Y, Uemoto S. Malignant pheochromocytoma: Hepatectomy for liver metastases. *World J Gastrointest Surg.* 2013 Nov 27;5(11):309-13.
10. Megumi Ishiguro, Kenjiro Kotake, Genichi Nishimura, Naohiro Tomita, Wataru Ichikawa, Keiichi

Takahashi, Toshiaki Watanabe, Tomohisa Furuhashi, Ken Kondo, Masaki Mori, Yoshihiro Kakeji, Akiyoshi Kanazawa, Michiya Kobayashi, Masazumi Okajima, Ichinosuke Hyodo, Keiko Miyakoda and Kenichi Sugihara Study protocol of the B-CAST study: a multicenter, prospective cohort study investigating the tumor biomarkers in adjuvant chemotherapy for stage III colon cancer BMC Cancer 2013 Mar 25;13:149.

11. Akagi T, Inomata M, Kitano S, Hida K, Sakai Y, Hasegawa S, Kinjo Y, Yoshimura K, Ito M, Fukunaga Y, Kanazawa A, Idani H, Watanabe M Multicenter study of short- and long-term outcomes of laparoscopic palliative resection for incurable, symptomatic stage IV colorectal cancer in Japan J Gastrointest Surg 2013 Apr;17(4):776-83.
12. Kageyama S, Wada H, Muro K, Niwa Y, Ueda S, Miyata H, Takiguchi S, Sugino SH, Miyahara Y, Ikeda H, Imai N, Sato E, Yamada T, Osako M, Ohnishi M, Harada N, Hishida T, Doki Y, Shiku H. Dose-dependent effects of NY-ESO-1 protein vaccine complexed with cholesteryl pullulan (CHP-NY-ESO-1) on immune responses and survival benefits of esophageal cancer patients J Transl Med 2013 Oct 5;11:246.
13. Tadayuki Kou, Masashi Kanai, Kenji Ikezawa, Tetsuo Ajiki, Tadashi Tsukamoto, Hideyoshi Toyokawa, Syujiro Yazumi, Hiroaki Terajima, Hiroaki Furuyama, Hiroaki Nagano, Iwao Ikai, Nobukazu Kuroda, Masaaki Awane, Toshiya Ochiai, Shigekazu Takemura, Atsushi Miyamoto, Makoto Kume, Masao Ogawa, Yutaka Takeda, Kaoru Taira and Tatsuya Ioka Comparative Outcomes of Elderly and Non-elderly Patients Receiving First-Line Palliative Chemotherapy for Advanced Biliary Tract Cancer J Gastroenterol Hepatol 2014Feb;29(2):403-8.
14. K. Ikezawa, M. Kanai, T. Ajiki, T. Tsukamoto, H. Toyokawa, H. Terajima, H. Furuyama, H. Nagano, I. Ikai, N. Kuroda, M. Awane, T. Ochiai, S. Takemura, A. Miyamoto, M. Kume, M. Ogawa, Y. Takeda, K. Taira, and T. Ioka. Patients with recurrent biliary tract cancer have a better prognosis than those with unresectable disease: retrospective analysis of a multi-institutional experience with patients of advanced biliary tract cancer who received palliative chemotherapy. J Hepatobiliary Pancreat Sci 2014 Feb;21(2):98-104.
15. Tetsu Yamamoto, Kuniyuki Katano, Shinichi Sugimoto, Akiyoshi Kanazawa, Eiji Hira, Hiroshi Takeda, Yoshitoshi Sato, Yutaka Yamashiro, Yoshitsugu Tajima, Masahide Ikeguchi Multicenter Analysis of mFOLFOX6 with Oxaliplatin Stop-and-Go Strategy Using Oral Uracil-Tegafur with Leucovorin for Unresectable Colorectal Cancer in Elderly Patients Journal of Cancer Therapy 2014 Feb 5(2): 147-154.
16. Hori T, Ogura Y, Yagi S, Iida T, Taniguchi K, Moghazy WM, Hedaya MS, Segawa H, Ogawa K, Kogure T, Uemoto S. How do transplant surgeons accomplish optimal portal venous flow during living-donor liver transplantation? Noninvasive measurement of indocyanine green elimination rate. Surg Innov 2014 Feb;21(1):43-51.
17. Kozo Kataoka, Akiyoshi Kanazawa, Shigeyoshi Iwamoto, Takeshi Kato, Akio Nakajima, Akira Arimoto Does ‘‘Conversion Chemotherapy’’ Really Improve Survival in Metastatic Colorectal Cancer Patients with Liver-Limited Disease? World J Surg 2014 Apr;38(4):936-46.
18. Masanori Toyoda, Tetsuo Ajiki, Yutaka Fujiwara, Hiroaki Nagano, Shogo Kobayashi, Daisuke Sakai, Etsuro Hatano, Masashi Kanai, Shoji Nakamori, Atsushi Miyamoto, Akihito Tsuji, Satoshi Kaihara, Hisashi Ikoma, Shigekazu Takemura, Hideyoshi Toyokawa, Hiroaki Terajima, Satoshi Morita, and Tatsuya Ioka. Phase I study of adjuvant chemotherapy with gemcitabine plus cisplatin in patients with biliary tract cancer undergoing curative resection without major hepatectomy (KHBO1004) Cancer Chemoth Pharm 2014 Mar 11. [Epub ahead of print]

19. 吉富摩美、橋田裕毅、野村明成、上田修吾、寺嶋宏明、尾崎信弘 術前補助化学放射線療法後に切除した局所進行 S 状結腸癌の 1 例癌と化学療法 41(9) (in press)
20. Endo K, Iida T, Yagi S, Yoshizawa A, Fujimoto Y, Ogawa K, Ogura Y, Mori A, Kaido T, Uemoto S. Impact of preoperative uncontrollable hepatic hydrothorax and massive ascites in adult liver transplantation. Surg Today 2014 Feb 8. [Epub ahead of print]
21. Hori T, Yagi S, Okamura Y, Iida T, Ogawa K, Tanaka H, Kageyama S, Hirao H, Hata T, Kirino I, Nagai K, Kubota T, Jobara K, Endo K, Uemoto S. How to successfully resect 70 % of the liver in pigs to model an extended hepatectomy with an insufficient remnant or liver transplantation with a small-for-size graft. Surg Today 2014 Feb 12. [Epub ahead of print]